

箱根組ニュース

第340号 2021年8月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

梅雨明けの日本晴れ、大菩薩峠から雷岩、大菩薩嶺まで天空の散歩を楽しむ

東京はまたまた緊急事態という中ですが、山梨県甲州市（旧塩山市）の大菩薩で夏を満喫してきました。

7月18日、日曜日、京王線新宿駅発6時8分の準特急高尾山口行きに乗車。高尾に6時56分着。7時6分発のJR甲府行きに乗り換える。

空いているかと思った車内は好天の為かかなりの乗客が乗っている。何とか座れたが朝食のおにぎりは食べにくい。車内が少し空いてきたからお隣の女性二人に断って朝食を済ませます。お二人も同じ大菩薩ということでした。なんとそのあと大菩薩峠で再会しました。お二人は甲斐大和下車のアプローチでした。

さて電車は、甲斐大和を過ぎると甲府盆地につながる開放感あふれる景色になり、ブドウ畑も広がりますがすがすがしい気分になる。山梨に来たんだと実感できる素晴らしい景色だ。

塩山駅に8時14分着。降り立ったのは佐藤、三田村、東郷、及川、宗像夫人、川名夫人、西川夫妻、戸丸の9名。

北口に出ると3台の予約したタクシーが待っていた。身支度とトイレを済ませて出発。

車が高度を上げてゆくと暑かった気温がどんどん下がってゆき、エアコンよりも外気のほうが気持ちよくなった。窓から見たが、途中で販売していた果樹園の桃が美味しそうだった。運転手さんによると熟した規格外のほうがすぐ食べるにはとてもおいしいとのこと。塩山ラブの運転手さんの話は面白かった。

9時5分、タクシーは上日川峠に到着。バスや自家用車、登山客でかなりにぎやかだ。駐車場の西側を見ると南アルプスの全容がはつきりと見える。

北側から甲斐駒ヶ岳、鳳凰三山の奥に仙丈ヶ岳、北岳、間ノ岳、農鳥岳、その南には塩見、赤石、聖の山々が連なっている。各自ストレッチをする。

9時20分、及川さん先頭で歩きだす。大菩薩峠登山道の標識に従って登ってゆく。檜やクヌギの林のようだがとても気持ちのいい林だ。木漏れ日の中涼しい



道を緩やかに上ってゆく。鼻歌の出るような快適な道だ。ハルゼミも鳴いている。9時50分、福ちゃん荘に到着。202年皇太子さまと雅子様が休憩されたと看板あり。小休止。

再び、大菩薩峠方面に向かって歩き出す。しばらくは平たんな道だ。

10時14分、小さな沢を渡ると目の前に勝縁荘。「大菩薩峠」の作者の中里介山もここで執筆したという。現在は営業していないようだ。林にダケカンバやシラカバが混じってくる。

10時35分、右側に二本のシラカバが立っている。ベンチがあるので小休止。以前もここで休んだところだ。

10時51分、左上青空の下に「介山荘と峠の標柱が見えた。

10時54分、大菩薩峠に到着。両側の茶店に挟まれる道はまるで小さな商店街だ。南アルプスがよく見える。大菩薩湖もきれいな山頂だ。

現在の収支
繰越 31573 円
入金 0 円
支出
News/HP 作成費 500 円
当日プリント代 180 円
現在高 30893 円

念ながら富士は両端の裾以外は雲に隠れて見えなかった。ここからの尾根道はまさ

に天空の散歩だ。左側の塩山甲府方面の景色と南アルプスが常に見えている。ただ足元はごろごろした石が多く少し歩きにくいので要注意。坂を上って降りると広い鞍部になる、ここが賽の河原だが、昔はここが大菩薩峠だったとか。

青空と夏の日差しの中、目の前の丘を目指して歩く。

11時46分、標高2000m地点に到着。もう一息で雷岩だ。

12時、雷岩に到着。日差しが強いので針葉樹の下に荷物を置いて大菩薩嶺を目指す。針葉樹の間の苔むした道だ。

12時10分、大菩薩嶺着。展望はないが林の中の静かな山頂だ。

戻り道に鹿の親子に遭遇。一生懸命に草を食べている。今年生まれたらしい小鹿は母親の近くで食べているが時々あどけない表情でこちらを見るが怖がっている様子はなくかわいいうるぐさに

8月29日(日) 狭山丘陵 都立八国山緑地ハイキング

ラクダコース 歩行約2時間

※電車バス内など、混雑時はマスクを使用しましょう。

西武園駅から狭山丘陵の東端の八国山緑地のナラ、クスギの雑木林を歩きます。野鳥や昆虫などにも会えるかもしれません。八国山とは、上野、下野、常陸、安房、相模、駿河、信濃、甲斐の八つの国が見えたことに由来するとのこと。

○持ち物 お弁当、飲料水、マスク(予備マスク)、傘、雨具、スパッツ、非常食、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ティッシュペーパー、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは 8月27日(金)までに

集合 8月29日(日) 西武池袋駅
7時42分発 急行飯能行き(前から3両目)

途中駅発
石神井公園 7:54 ひばりが丘 7:59

所沢 8:06 着 (西武新宿線乗り換え)
8:12 発 急行西武新宿行き
東村山 8:15 着 (西武園線乗り換え)
8:22 発 西武園行き
西武園 8:25 着

交通費 池袋～西武園(片道377円)

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/03-3521-6898 戸丸
戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi



みんな夢中でシャッターを押ししていた。雷岩横の林の中で昼食。凍らせた水と一緒に持参したビールはかなり冷えていておいしかった。皆さん持参のおかずもあり美味しい楽しい昼食だ。

1時20分、下山開始。雷岩から唐松尾根で福ちゃん荘を目指す。少し急な所もあり慎重に降りて行く。そのあとは快適な森のコースだ。

2時15分、福ちゃん荘着。かき氷を

食べた人が2名ほど。朝のコースを逆に歩いて下つてゆく。

2時50分、上日川峠に到着。3時発の甲斐大和行きのバスがあつて、西川夫妻、及川、宗像の4名はこちらで帰ることになるのでここでお別れ。

残る5名はこれまで歩いたことのない千石平への道を下りることにする。

2時58分、車道を少し行くとすぐ左に山道がありこれを下る。かなりの大木もある山道で森も深くとても魅力的だ。

3時13分、いったん車道に出る。すぐにまた左側の山道に入る。

3時25分、大きな木の下に第2展望台の看板がおいてある。ベンチが一つ。あまり何も見えない展望台と思つていたら、東郷さんが逆方向を見て雷岩が見えるとのこと。確かに見えた。雷岩の展望台かもしれない。岩があつたりといろいろ変化のある道を下りていく。

4時3分、仙谷茶屋に到着。生桃ジュースが飲みたかつたがバスの予定を考へてあきらめて下る。

4時10分、右から丸川峠の道が合流する。

4時23分、大菩薩峠登山口バス停着。番屋茶屋前で着替えてバスを待つ。

4時43分発の塩山行きのバスが少



し遅れてやつてきた。

5時過ぎ塩山駅に到着。予定していた北口の店は本日貸し切りということ、すぐ近くの中華に5人に入る。1年半ぶりくらい久しぶりに東京ではなかなか飲めない生ビールで乾杯。餃子や他の料理も美味しくビールはお替り、黒霧のボトルも空いてしまった。

8時5分の電車で岐路に着く。

